



初めての栽培を応援

園芸入門

野菜編

どっさり収穫できる

つるなしインゲン 「れんたろう」

作型図	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
寒地 / 寒冷地					●	●	●	●	●	●		
温暖地				●	●	●	●	●	●	●	●	
暖地			●	●	●	●	●	●	●	●	●	

● まきどき ● 収穫期

※栽培方法・時期は目安です。適温でのタネまき、地域や条件に合わせた栽培をおすすめします。

おすすめアイテム

＼ タネ ／ ＼ タネまき用培養土 ／ ＼ 定植用培養土 ／ ＼ ポリ鉢 ／



収穫目安
タネまき後
60~65日



スーパーミックスA®
(タネまき・育苗用土)



野菜三昧®



Yポット

基礎情報

分類	マメ科
用途	地植え
日当たり	日なた
耐暑性	中
収穫までの日数	60日~65日

タネをまく前に 毎回確認! タネまき基本3チェック

☑ 気温をチェック

気温が高過ぎても低過ぎてもうまく発芽できません。天気予報などで気温を確認してからタネをまきましょう。特に春は日中暖かくても夜は冷えるので注意してください。

☑ 土の厚さをチェック

発芽するときに光を好むもの、嫌うもの、どちらでもいいものがあります。必ずチェックしてからまきましょう。

☑ 土が乾燥していないかチェック

タネまき後、発芽まではこまめに水やりしてください。発芽するまで乾燥は厳禁。ジョウロでの水やりでタネが流されそうな場合は霧吹きを使ってください。

手順 1 タネまき



ポリ鉢に深さ3cm程度の穴を開けます。



タネ3~5粒をお互い離してまきます。



土をかけます。



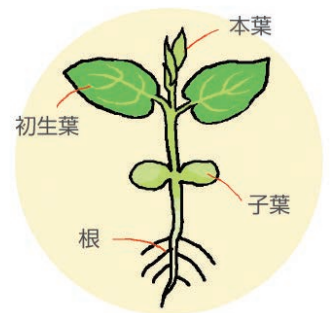
軽く湿る程度水やりします。

土をポリ鉢の上端から3cm程度低いところまで入れます(直径9cmのポリ鉢)。深さ3cmほどの穴を開けタネ3~5粒をまき、土をかけて元の面と同じ高さにしてから水やりをします。インゲンは、タネまき後に土が湿り過ぎてると腐りやすいので、水やりは軽く湿る程度にします。ポリ鉢は通気性がよく根に優しい「Yポット」、土はタネまきと小さな苗の栽培に適した「スーパーミックスA」がおすすめです。

手順 2 間引き



発芽後、初生葉が展開し始めたら1本立ちにします。
※初生葉：マメ科特有の葉で、子葉の直上に左右対称に着生します



手順 3 定植



プランターに土を入れます。



苗を植えるための穴を開けます。



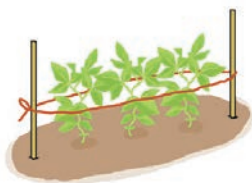
ポリ鉢から苗を取り出します。



土の表面が平らになるように植え付けます。定植後はたっぷり水をあげます。

本葉2枚になったら定植します。横幅が50cm程度のプランターの場合は3株を植え付けます。土は初期肥料配合済みでそのまま使える「野菜三昧」がおすすめです。

手順 4 支柱立て



ひもで挟むようにする



1カ所ごとに棒を立て、ひもで緩く縛る

花が咲く前に支柱を立てます。ひもなどで囲うように縛るか、棒を立てひもで緩く縛る方法があります。支柱を立てない場合は、株元に土寄せして倒れないようにします。追肥は、成長の具合を見て適宜行います。

手順 5 収穫

タネまき後60~65日くらいで収穫が始まり、収穫期間は15日くらいです。マメが膨らみ過ぎないうちに収穫します。莢を収穫する際は枝を傷めないよう、ハサミで切り取るか、指で収穫しましょう。とり遅れると莢が硬くなるので早めに収穫します。また、早めに収穫すると株の負担も少なく、長く収穫できます。



枝を傷めないように付け根をハサミで切るとよいでしょう